
User's Manual

Wirepuller ユーザーズマニュアル

IM B9852UC-01
6版

はじめに

このユーザーズマニュアルは、www.yokogawa.co.jp/tm/F-SOFT/からダウンロードできるWirepullerの取り扱い上の注意/機能/操作方法などについて説明したものです。ご使用中にこのマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは、ご使用時にすぐにご覧になれるところに、大切に保存してください。ご使用中に操作がわからなくなったときなどにきっとお役にたちます。

なお、DLシリーズ/WT 1600の取り扱い上の注意/機能/操作方法、Windowsの取り扱い/操作方法などについては、それぞれのマニュアルをご覧ください。

ご注意

- 本書の内容は、性能/機能の向上などにより、将来予告なしに変更することがあります。また、実際の画面表示内容が、本書に記載の画面表示内容と多少異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、裏表紙に記載の当社支社/支店/営業所までご連絡ください。

商標

- MS-DOSまたはWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AdobeとAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- 本文中の各社の登録商業または商標には、TM, ®マークは表示していません。
- その他、本文中に使われている会社名/商品名は、各社の登録商標または商標です。

履歴

2001年8月	初版発行
2002年5月	2版発行
2003年3月	3版発行
2004年8月	4版発行
2005年3月	5版発行
2005年4月	6版発行

目次

はじめに	i
製品概要	1
ご使用にあたっての注意	6
1. DLシリーズ/WT1600のコントロール	7
2. 環境設定	10
3. コントロール画面の操作のしかた	11

製品概要

機能

DLシリーズ/WT1600のコントロール

イーサネット/USB^{*1}/GP-IB インタフェースを使って、デジタルオシロスコープ DL7100/DL7200およびDL1600/DL1700/DL1700E/DL7400/DL750^{*2}シリーズとデジタルパワーメータWT1600をパーソナルコンピュータからコントロールできます。本ソフトウェアを起動すると、接続されたDL/WTのフロントパネルイメージ(コントロール画面)がパーソナルコンピュータの画面に表示されます。DL/WT本体の操作キーを操作するのと同様の感覚で、マウスを使って、パーソナルコンピュータからDL/WTをコントロールできます。

*1 USBインタフェースは、DL750およびDL1600/DL1700/DL1700E/DL7400シリーズだけ使用できます。

*2 本ソフトウェアのバージョン1.17以降で、DL750Pに対応。

画面イメージの保存

パーソナルコンピュータに表示中の画面イメージデータをBMP形式で保存できます。

コントロール画面の表示サイズを選択

パーソナルコンピュータに表示するコントロール画面の大きさを次の中から選択できます。パーソナルコンピュータの画面の表示領域が小さいとき、コントロール画面を縮小して表示できます。

- ・ 100%： 接続しているDL/WTの全表示画素数と同じ画素数でDL/WTの画面イメージ部分を表示
- ・ 75%： 接続しているDL/WTの全表示画素数の75%の画素数でDL/WTの画面イメージ部分を表示
- ・ 50%： 接続しているDL/WTの全表示画素数の50%の画素数でDL/WTの画面イメージ部分を表示

表示更新レートを選択

DL/WTの画面イメージの表示更新レートを次の中から選択できます。ただし、ネットワークの伝送方式や通信負荷の度合いによって、実際の表示更新レートは、設定した更新レートより遅くなることがあります。

1s~1Hour, Minimum(ご使用の環境下での最高更新レートです。ネットワークに負荷がかかる場合がありますのでご使用の際はご注意ください。)

画面の表示更新

DL/WTの画面イメージの表示を強制的に更新できます。表示更新レートを遅い設定にしているときや、表示更新をPAUSEにしているときに使います。

輝度の変更

画面イメージの表示輝度を変更できます。

表示更新の中断

表示更新を中断(PAUSE)できます。

一度にたくさんの項目のON/OFFを設定したり、キーボードで入力するときなど、PAUSE状態にすると、レスポンスがよくなります。

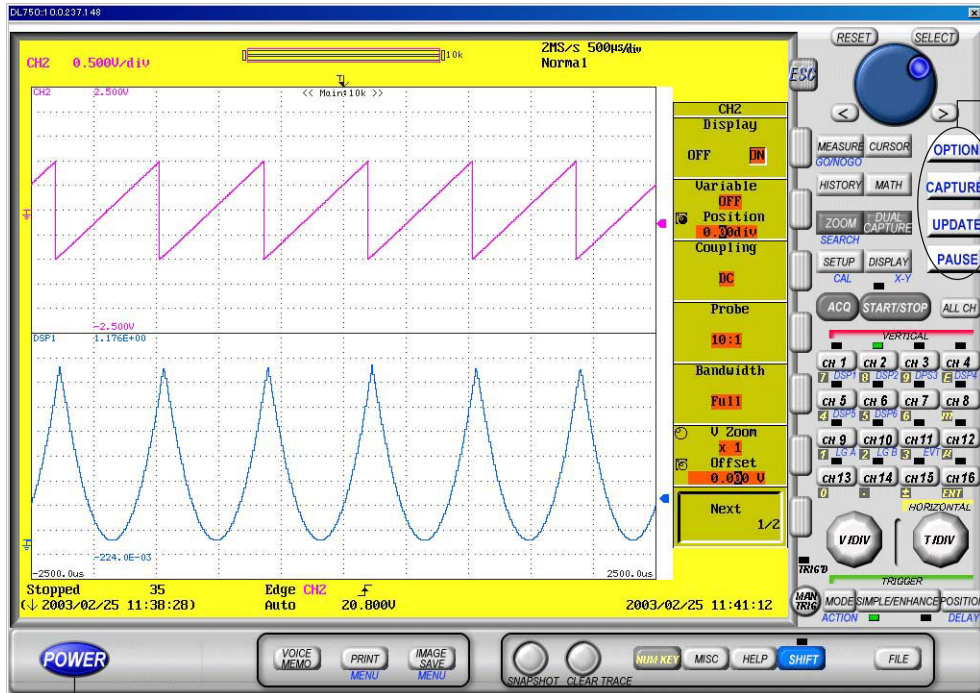
コントロール画面

環境設定キー

次のキーで環境設定ができます。機器本体にはないキーです。

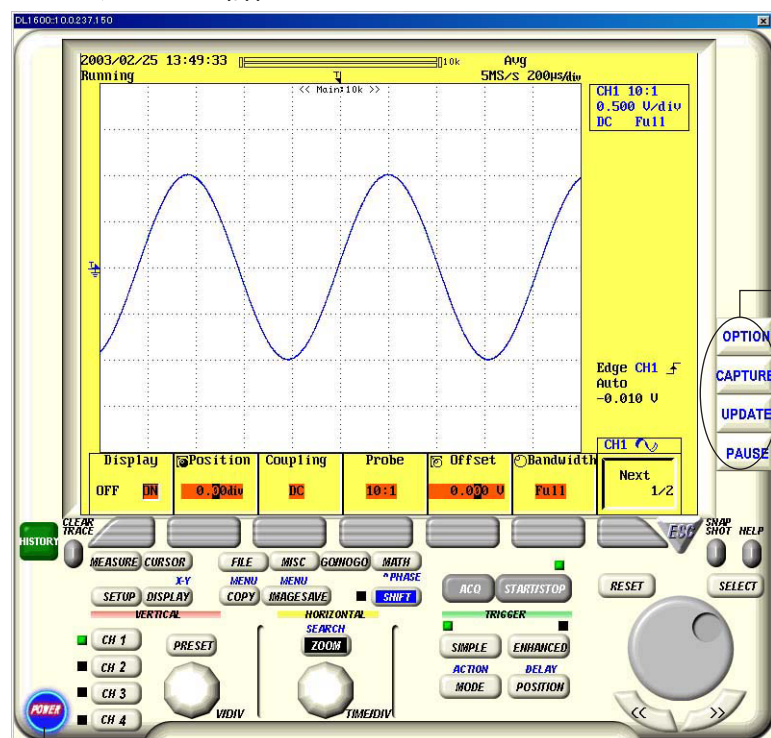
- ・ OPTION : 表示サイズ/表示更新レート/輝度の設定
- ・ CAPTURE : 画面イメージデータの保存
- ・ UPDATE : 表示更新の実行
- ・ PAUSE : 表示更新の中断

DL750シリーズの場合 (DL750Pの場合は、DUAL CAPTUREとVOICE MEMOキーが別のキーに変わっています。操作時に表示される画面をご覧ください。)



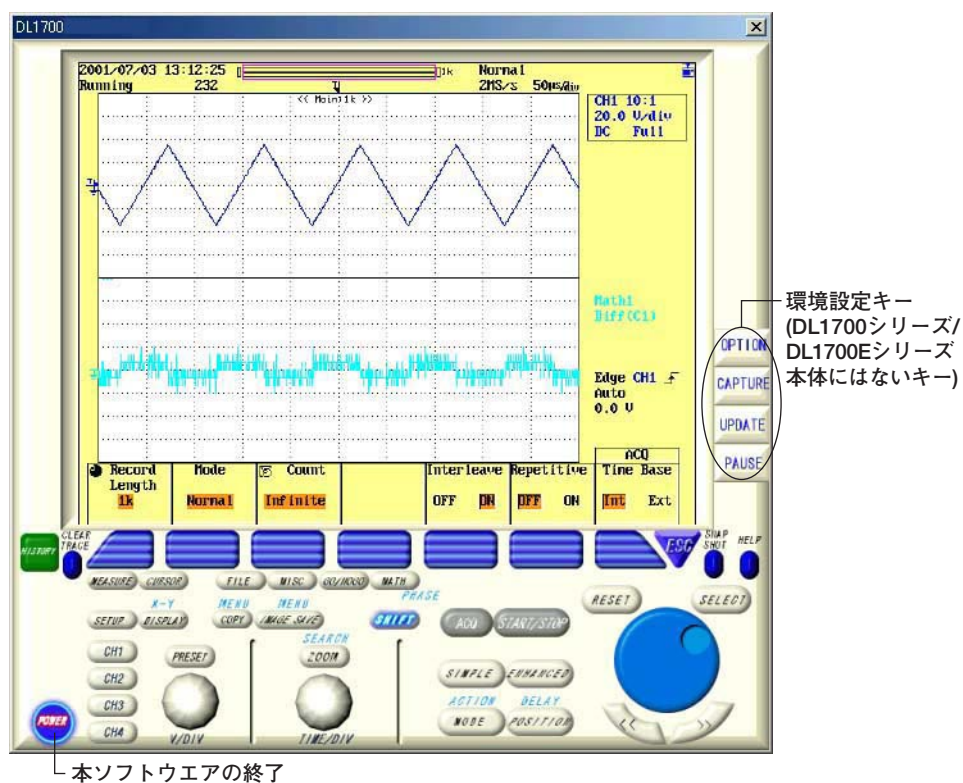
本ソフトウェアの終了

DL1600シリーズの場合

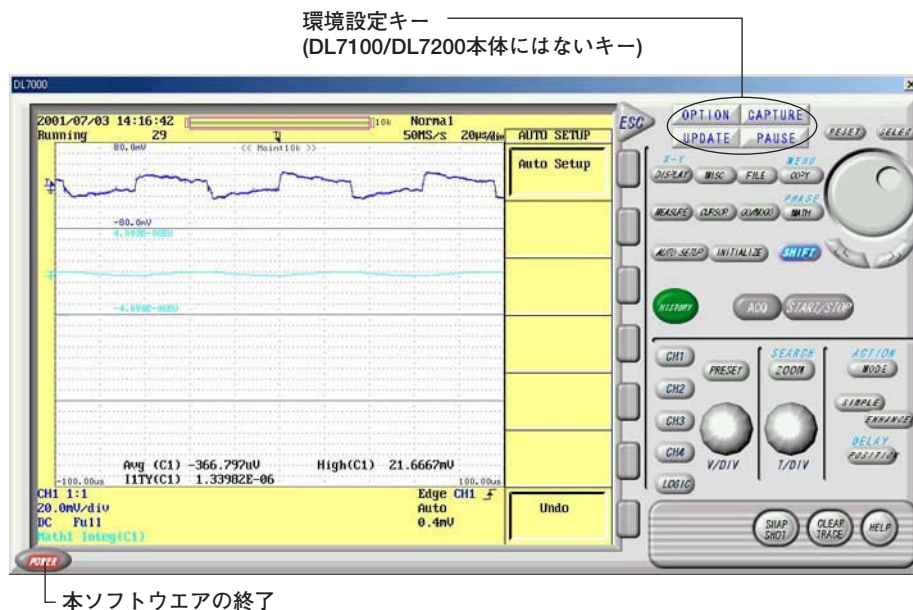


本ソフトウェアの終了

DL1700/DL1700Eシリーズの場合

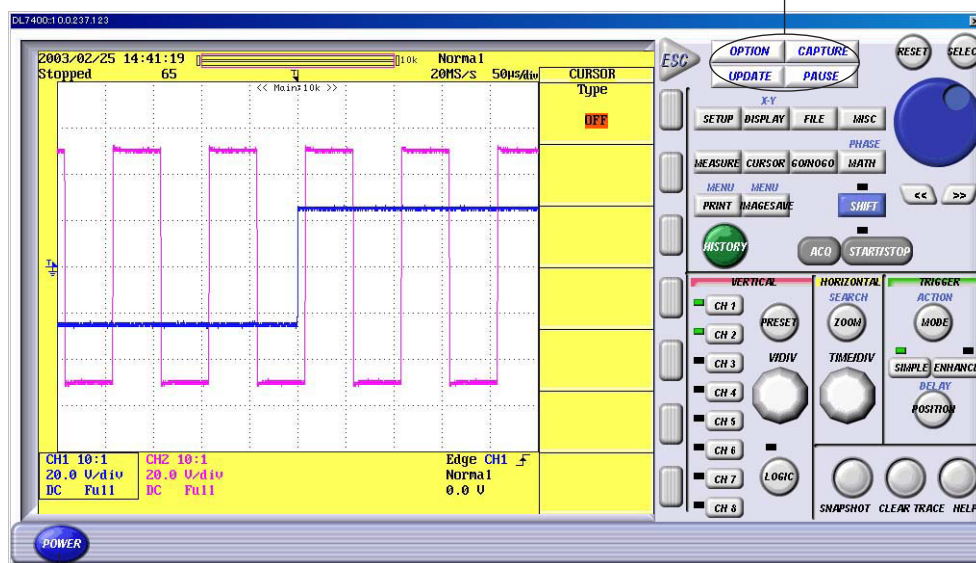


DL7100/DL7200の場合



DL7400シリーズの場合

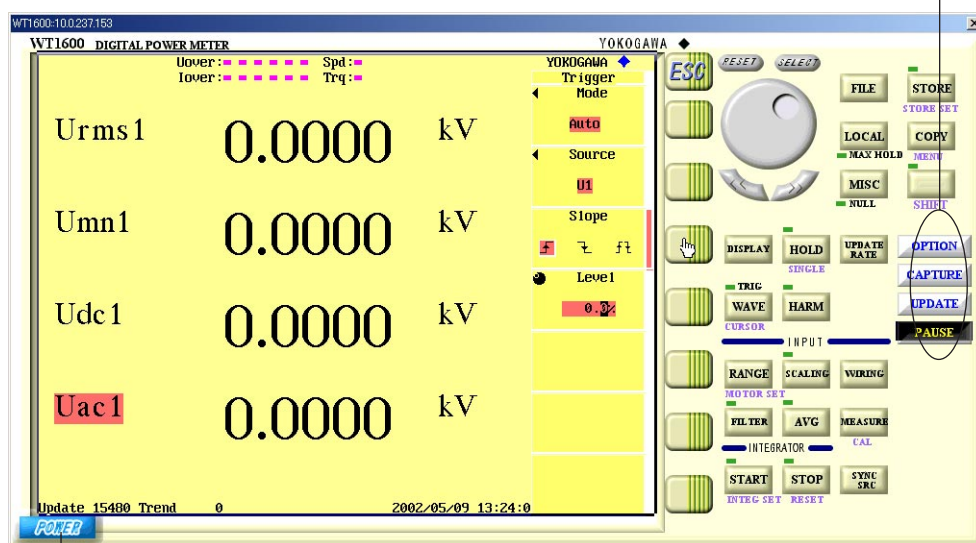
環境設定キー
(DL7400シリーズ本体にはないキー)



└ 本ソフトウェアの終了

WT1600の場合

環境設定キー
(WT1600本体にはないキー)



└ 本ソフトウェアの終了

動作に必要なシステム環境

● パーソナルコンピュータ本体

日本語Windows 2000, またはWindows XPが動作可能なパーソナルコンピュータで, Celeron 800MHz以上のCPUを搭載し, 256Mバイト以上のメモリを有したものがが必要です。

● OS(オペレーティングシステム)

使用するインタフェースによって, 必要なOSが次のように異なります。

・イーサネットインタフェース

Windows 2000, Windows XP

・GP-IBインタフェース

Windows 2000, Windows XP

・USBインタフェース

Windows 2000, Windows XP

USBインタフェースは, DLシリーズでのみ使用できます。WT1600は, USBインタフェースを搭載していません。また, 接続するDLシリーズ用のUSBドライバが必要です。USBドライバについて詳しくは, DLシリーズの各取扱説明書をご覧ください。

● CRT, プリンタ, マウス

ディスプレイ: SVGA/XGA(推奨はXGA以上)

color: 256色以上(推奨65536色以上)

● GP-IBボード

GP-IBインタフェースを使う場合は, ナショナルインスツルメンツ社製のGP-IBボードまたはPCMCIAカードが必要です。ただし, Windows XPでのPCMCIA-GPIBカードの動作は保証外です。

● 動作に必要なDLシリーズ/WT1600のファームウェアバージョン

DL750シリーズ	: Ver1.07以上
DL1600シリーズ	: Ver1.04以上
DL1700シリーズ	: Ver1.30以上
DL1700Eシリーズ	: Ver2.02以上
DL7100, DL7200	: Ver3.01以上
DL7400シリーズ	: Ver1.04以上
WT1600	: Ver2.01以上

ご使用にあたっての注意

免責

当製品の使用に関して、直接または間接に生じるいっさいの損害について、責任を負いません。

使用上の注意

- ・ 本ソフトウェア使用中は、DLシリーズ/WT 1600本体での操作はしないでください。誤動作の原因になります。
- ・ パーソナルコンピュータに装備されているスタンバイモードに入ると、本ソフトウェアの動作を継続できなくなる場合があります。
スタンバイモードをオフにしてご使用ください。
- ・ イーサネットインターフェースを使って、本ソフトウェアを実行した場合、回線負荷は最大で800kバイト/s、通常で400kバイト/s以下です。
ご使用にあたっては、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ・ 本ソフトウェアで、DLシリーズ/WT 1600本体のネットワークや通信の設定をしないでください。接続が切断される恐れがあります。
- ・ 本ソフトウェアで、セルフテストを実行しないでください。
- ・ 本ソフトウェアでコントロールできるDLシリーズ/WT 1600は、1台だけです。また、複数のパーソナルコンピュータから同じDLシリーズ/WT 1600に対して、同時には接続できません。
- ・ 1つのパーソナルコンピュータで本ソフトウェアを複数起動して、複数のDLシリーズ/WT 1600をコントロールできますが、パーソナルコンピュータの仕様や回線の状態によっては、動作が遅くなることがあります。また、本ソフトウェアを複数起動した場合、パーソナルコンピュータのCPUやメモリサイズによっては、正しく動作しなくなることがあります。
- ・ DL 1600/DL 1700/DL 1700Eシリーズのサムネールのプレビュー表示には対応していません。また、DL 7400シリーズのサムネール表示およびプレビュー表示には対応していません。
- ・ DL/WTに接続中に接続エラーが出て接続できないときは、DL/WT本体の電源スイッチをOFF/ONしてください。
- ・ WT 1600本体のデータ更新レートは、200ms以上でお使いください。データ更新レートを速くすると、過負荷状態になり、動作が遅くなることがあります。

1. DLシリーズ/WT1600のコントロール

インタフェースの設定

1. 使用するインタフェースをDL/WT本体で設定してください。

DL750/DL1600/DL1700/DL1700Eシリーズの場合

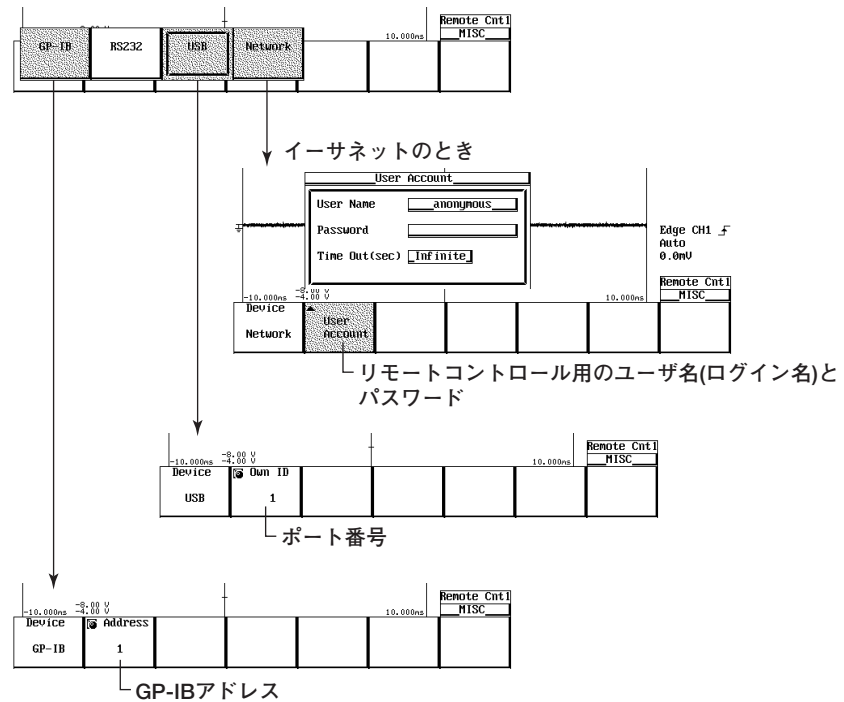
: MISC > Remote Cntl > Device

DL7100/DL7200の場合 : MISC > Communication > Device

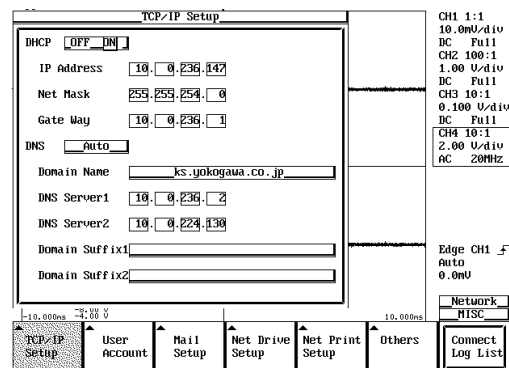
DL7400シリーズの場合 : MISC > Remote Control > Device

WT1600の場合 : MISC > Communication > Comm Device

・設定例(DL1740)



<イーサネットのとき必要な設定(MISC>Network)>

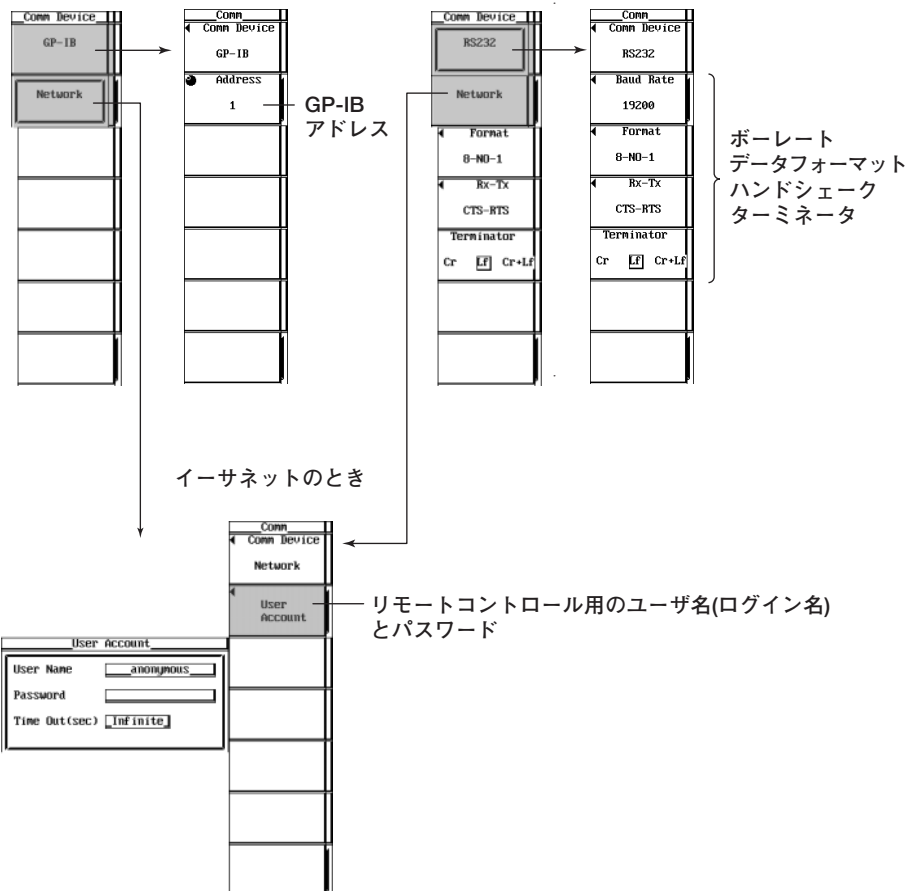


1. DLシリーズ/WT1600シリーズのコントロール

・ 設定例(WT1600)

-C1仕様(GP-IB)の場合

-C2仕様(Serial)の場合



<イーサネットのとき必要な設定(MISC>Network>TCP/IP Setup)>

The 'TCP/IP Setup' dialog box contains the following fields and values:

- BHCP: OFF [ON]
- IP Address: 10.0.237.853
- Net Mask: 255.255.254.0
- Gate Way: 10.0.236.1
- DNS: Auto
- Domain Name: ks.yokogawa.co.jp
- DNS Server1: 10.0.252.19
- DNS Server2: 10.0.252.26
- Domain Suffix1:
- Domain Suffix2:

The sidebar on the right includes: Network, TCP/IP Setup, User Account, Mail Setup, Net Drive Setup, Net Print Setup, Others, Connect, and Log List.

ソフトウェアの起動/インタフェースの選択

- Wirepuller.exeファイルをダブルクリックすると、次のようなダイアログボックスが表示されます。

使用するインタフェースを選択し、それぞれのインタフェースに応じて、必要な項目を設定してください。



DL/WTのコントロール

- CONNECT**をクリックすると、接続先のDL/WTのフロントパネルイメージ(コントロール画面)が表示されます。

操作したいキーにマウスを移動し、クリックすると、キーを押したときと同じ動作が実行されます。

Note

DL/WT本体の操作のしかたについては、DL/WT本体の取扱説明書をご覧ください。

2. 環境設定

表示サイズ/表示更新レート/輝度の設定

OPTIONをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。必要に応じて設定します。



Note

Windows 95では、表示輝度の設定はできません。

画面イメージデータの保存

CAPTUREをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。



画面イメージを保存するときの色を設定

- OFF : 白黒
- ON : 画面に表示されている色
- ON(Reverse) : 画面に表示されている色の反転
- ON(Gray) : グレースケール

保存する場所、ファイル名、ファイルの種類、COLORを指定し、**保存**をクリックすると、画面イメージデータが保存されます。

Note

セーブできるデータ形式はBMP形式だけです。

表示の更新/画面表示更新の中断

PAUSEをクリックすると、DL/WTの画面イメージの表示の更新を中断します。

UPDATEをクリックすると、DL/WTの画面イメージの表示を更新します。

3. コントロール画面の操作のしかた

マウスの使い方

マウスポインタがコントロール画面上のどの位置にあるかで、表示されるアイコンとマウスの操作方法が変わります。アイコンごとのマウスの操作のしかたと、DLシリーズ/WT1600への設定動作は、下表のようになります。

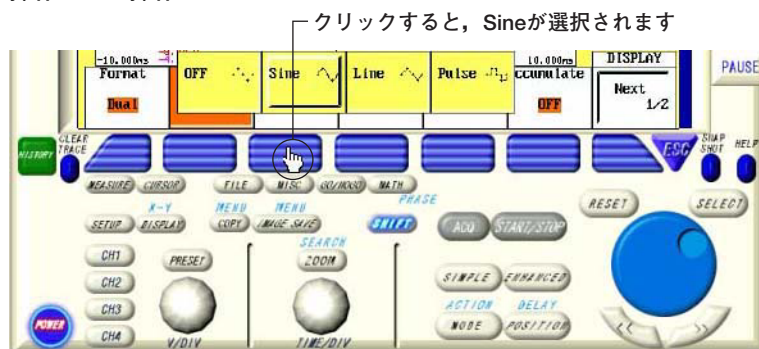
マウスポインタの位置	表示されるアイコンとマウスの操作	設定動作
操作キー	 クリック操作	操作キーを押したのと同じ
ソフトキーメニューやダイアログボックス	 クリック操作 ホイール操作	ソフトキーやボタンを押したのと同じ ジョグシャトルを回したのと同じ
電圧軸情報表示エリア*	 クリック操作 ホイール操作	CHキーを押したのと同じ V/DIVノブを回したのと同じ
時間軸情報表示エリア*	 ホイール操作	T/DIVノブを回したのと同じ
ジョグシャトルの左側または右側エリア*	 クリック操作 ホイール操作	ジョグシャトルを左または右方向に回したのと同じ ジョグシャトルを回したのと同じ
V/DIVノブの左側または右側エリア*	 クリック操作 ホイール操作	V/DIVノブを左または右方向に回したのと同じ V/DIVノブを回したのと同じ
T/DIVノブの左側または右側エリア*	 クリック操作 ホイール操作	T/DIVノブを左または右方向に回したのと同じ T/DIVノブを回したのと同じ

* WT1600では、表示されません。

3. コントロール画面の操作のしかた

マウスの使用例

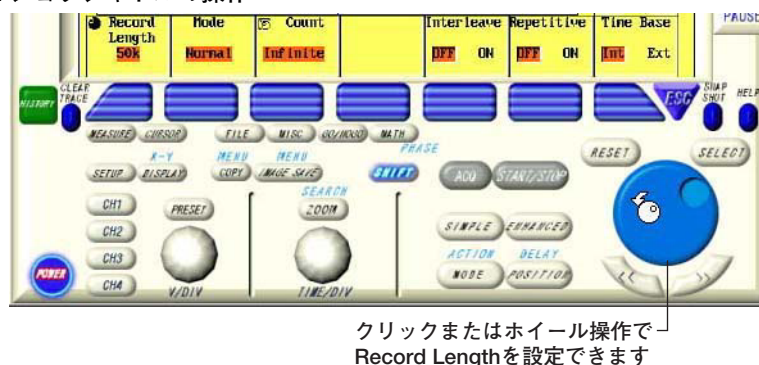
1. 操作キーの操作



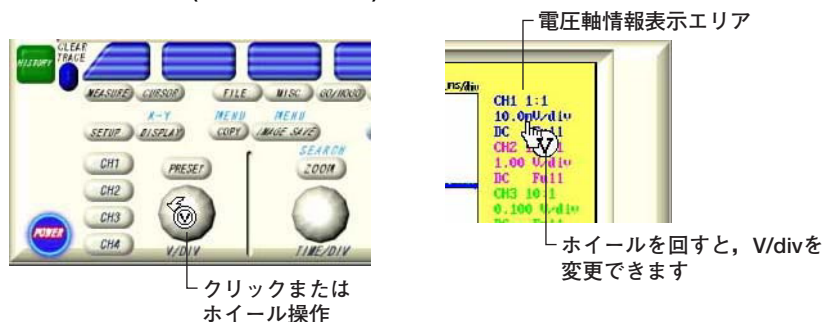
2. ソフトキーメニューの操作(DLシリーズ/WT1600の本体にはない操作)



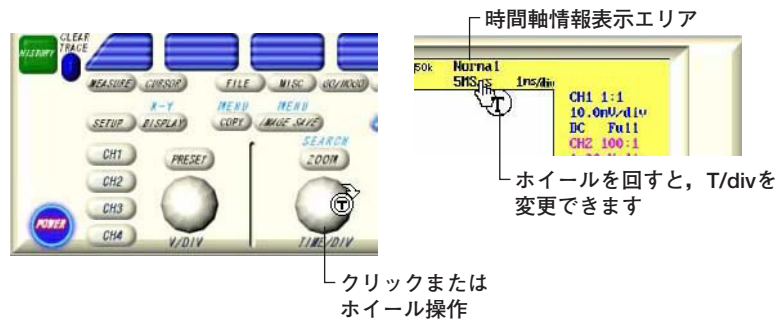
3. ジョグシャトルの操作



4. V/DIVノブの操作(DLシリーズだけ)



5. T/DIVノブの操作(DLシリーズだけ)



6. ダイアログボックスの操作

- ・ ONにしたい項目への移動 : ジョグシャトルをクリックまたはホイール操作
- ・ ON/OFFの設定 : **SELECT**をクリックまたは、下図のように直接クリック

